

4 未然防止のための指導資料

学級活動やホームルーム活動等で使える指導資料を、発達段階に分けて掲載しました。指導のポイントや指導例、すぐに使えるワークシートを情報モラルの指導に活用してください。

【小学校1～3年で使える指導資料①】

題材名 「ことばについてかんがえよう」

指導のポイント
低学年の児童は、まだまだ自分の思っていることや感じていることをうまく表現できない年齢である。そのため、トラブルの多くが、発達もよく分かっていなかったり、経過も上手に説明できなかったりする。また、「やった方」は悪気を感じていない場合や、「やられた方」が「何もしていないのにやられた」と訴えてくる場合もある。そこで、言葉の使い方や伝え方、相手を嫌な気持ちや悲しい気持ちにさせてしまうことに気付け、生活の中にある嫌な言葉を使わないようにする態度を育てたい。

指導例
(ねらい)
・学校生活の一場面を取り上げ、友達に対する言葉について考えることを通じて、よりよい生活を送ろうとする態度を身に付ける。

	学習活動	予想される児童の反応	留意点
導入	1 休み時間の様子を描いた場面絵を見せ、どんな場面なのかを想像する。 (外遊びの場面)	・ぶらんこで遊んでいる。 ・ぶらんこで遊びたい。 →一緒に遊びたい。 ・貸してほしい。	・児童から出てきた言葉を展開につなげていく。
展開	2 場面絵を見ながら、ワークシートの場面設定を読み、それぞれの気持ちを考える。	かける ・びっくりした。 ・ひどい。 ・悲しい。 ・貸したくない。 ・嫌だなあ。 れん ・貸してほしい。 ・僕も早くのりたたい。 ・じゅま。 ・まだかなあ。	・場面絵の説明をし、その場面を想像させる。
	3 かけるが嫌な気持ちになった理由を考える。	・いじわるだと思ったから。 ・こわいと思ったから。 ・あつちに行けと言われたと思ったから。 ・怒っていると思ったから。	・2で出てきたかけるの気持ちについて考えさせ、ワークシートに書かせる。
まとめ	4 優しい言葉で言い換える。	・フツフツを貸して。 ・終わったら貸してね。 ・かけるさんの次に果せてね。 ・僕ものりたたいな。	・ワークシートの吹き出しに、優しい言葉を書かせる。
	5 言い方を変えると、かけるの行動がどのように変わるのかを考える。	・すぐに貸す。 ・終わったら貸す。 ・いいよと言う。 ・待っててねと言う。 →一緒に遊ぶ。	・優しい言葉で伝えられたときの行動や気持ちを予想し、ワークシートに書かせる。
	6 振り返りする。		

この指導資料が活用できる「発達段階」と指導資料の「題材名」


どのような観点で指導したらよいかを示した「指導のポイント」

指導する際のねらいや学習活動、予想される児童生徒の反応、留意点を示した「指導例」

【ワークシート】

ことばについてかんがえよう

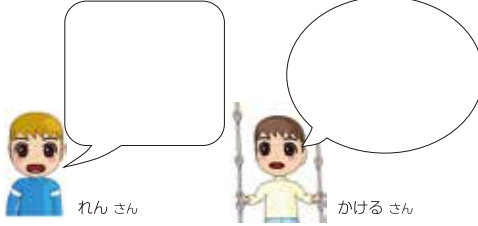
かけるさんは、やすみじかんにぶらんこにのってあそんでいました。そこに、れんさんがきて「どげよ！」と叫びました。れんさんもぶらんこにのりたかったのです。かけるさんは、いやなきもちになって、ぶらんこからおりませんでした。



かけるさんは、どうしていやなきもちになったのかな？

やさしいことばでいいかえてみよう！

かけるさんのきもちやこうどうをかんがえてみよう！



れんさん

かけるさん

◆ふりかえり◆
いやなことばと、やさしいことばのちがいがわかった。 [わかった・わからない]
これからは、ことばをよくかんがえてからつかおうとおもった。 [おもった・おもわない]

そのまま印刷して使える「ワークシート」

